

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月21日更新

事務事業名		図書館協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	上原哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	大高知加子
	基本事業	66	学習の啓発			所属班	図書館班	(内線)	2531
予算科目	会計一般	款10	項5	目8	事業連番11177	法令根拠	図書館法第14条・16条及び合志市図書館条例第10条	成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民の文化及び教養の向上を図るための図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕について館長に対し、意見を述べる機関として設置。図書館開館に伴い、平成6年に図書館条例が設置され諮問機関として実施している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	図書館条例に基づき委員を選任、年2回の図書館協議会を開催し図書館の運営について委員から意見を聴取する。
【主な予算費目】	報酬、費用弁償(図書館協議会委員)
【意見や要望】	学校との連携、地域との係わり合い。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	図書館協議会を2回開催した。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成24年度は、子ども読書活動推進計画の改訂にあたるため、図書館協議会を3回開催予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回 →ア:図書館協議会の開催回数 イ:	予算の主な増減の理由 委員報酬及び費用弁償の増は、協議会回数を2回から3回にしたため
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	図書館協議会委員	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)人 →ア:図書館協議会委員数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	図書館の運営体制を強化できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)件 →ア:協議会での意見の数 イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア	回	2	2	2	2	3	2	2	2	
	イ										
②対象指標	ア	人	12	12	12	12	12	12	12	12	
	イ										
③成果指標	ア	件	19	17	20	15	20	20	20	20	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	118	106	118	100	178	119	119	119
		(A)事業費計	千円	118	106	118	100	178	119	119	119
		(A)のうち指定経費	千円	0	66	74	63	112	75	75	75
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	5	4	4	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	58	160	60	150	60	60	0	0	
	(B)人件費計	千円	230	659	247	605	247	247	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	348	765	365	705	425	366	119	119	

事務事業名	図書館協議会運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 図書館運営事業について諮問し、意見を聞く機関のため、公正・公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

協議会の意見を反映し、利用者サービスにつながった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>引き続き図書館事業について、意見を求めていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						